2023 年度　傾斜的研究費（全学分）科研費チャレンジ　研究報告書

【研究費区分】：科研費チャレンジ（B）
【所属】：国際センター
【氏名】：嶋内佐絵
【氏名フリガナ】：シマウチサエ
【職】：准教授
【研究課題名】：
アジア留学生のトランスナショナルな移動：ポピュラーカルチャーと国際教育の接触領域

【研究実績の概要】
2023 年度中に当該研究に関する論文を Q1 ジャーナルに 2 本発表し、またその他 3 本の論文についてもカルチュラルスタディーズ、メディアスタディーズ系の英文ジャーナル（すべて Q1）に投稿し、2024 年 4~6 月に発表された。1－4 はトランスナショナルなクィアメディアの日本における受容についてそれぞれ異なる側面に対して異なるアプローチから分析したもので、ポピュラーカルチャーと社会の関連、人々の意識の変容などを論じている。5 は日本人学生のアジア留学に関する言説分析であり、これら 5 点の論文は本研究課題の議論の基盤となる分析・視点を提供している。

1. Shimauchi, S. (2024). “It is universal love beyond homosexuality and gender difference”: critical media discourse analysis of boys’ love dramas in Japan. Feminist Media Studies, 1–15. https://doi.org/10.1080/14680777.2024.2361042
2. Shimauchi, S. (2024). Fans speak for whom? Imagined ‘official’, internalised hegemony and self-censorship. Media, Culture & Society, 0(0). https://doi.org/10.1177/01634437241249175
3. Shimauchi, S. (2024). Inter-Asia referencing and orientalist consideration of the transnational fandom of Thai boys’ love drama in Japan. Inter-Asia Cultural Studies, 25(3), 386–405. https://doi.org/10.1080/14649373.2024.2336728
4. Shimauchi, S. (2023). Thai Boys Love drama fandom as a transnational and trans-subcultural contact zone in Japan. Continuum, 37(3), 381–394. https://doi.org/10.1080/10304312.2023.2237709
5. Iwabuchi, K., & Shimauchi, S. (2023). Inter-Asian perceptions of studying ‘abroad’ in Asia: analysis of Japanese students’ discourse. Globalisation, Societies and Education, 1–12. https://doi.org/10.1080/14767724.2023.2272739

【本支援を用いた研究基盤整備の達成状況について】
・本支援を用いて文献調査およびインタビュー調査を行った他、上記の論文発表を行い、2024 年から 28 年までの科研費基盤研究 B を獲得した。

【外部資金への応募状況】

2024 年度科研費基盤研究 B「アジアにおける留学生移動とポピュラーカルチャーの接触領域」（研究代表者、令和 6-10 年度）を獲得

【研究分担額】

（研究代表者・分担者名,所属,金額（円））

研究代表者嶋内佐絵（東京都立大学）、分担者岩渕和祥（東京大学）、分担者花田真吾（東洋大学）5,100 千円